表題：運動と健康の関連性

　　　Relationship between exercise and health

著者：（記入しない）

所属機関：（記入しない）

（表題を記すページでは、空白になっても行を削除しないこと）

代表著者の通信先：（記入しない）

論文の種類：原著

図表の数：図●点、表●点

別刷請求部数：●部（50部単位で請求すること）

和文抄録（文章例を削除した上で作成する。背景等の見出しも含め1,500字以内。途中で改行せず、一つの段落にする。）

背景：身体不活動は・・・。目的：本研究では・・・。方法：国際身体活動質問紙（IPAQ）を用いて・・・。結果：身体活動記録から算出された消費エネルギー量は・・・。結論：・・・であることが示唆される。

キーワード（表題に含まれていない語に限る）

○○、○○、○○、○○、○○

Abstract in English（文章例を削除した上で作成する。BACKGROUND等の見出しも含め250語以内。途中で改行せず、一つの段落にする。）

BACKGROUND: Physical inactivity is the fourth leading cause of death worldwide. OBJECTIVE: We aimed to quantify the effect of physical inactivity… METHODS: The International Physical Activity Questionnaire (IPAQ) was administered…. RESULTS: Energy expenditure from physical activity recorded… CONCLUSION: Our findings suggested that…

Keywords（表題に含まれていない語に限る）

○○, ○○, ○○, ○○, ○○

Ⅰ　緒言

　……報告されている1）。……知られている2,3）。……他の研究を参照した4-7）。

Ⅱ　方法

1. 研究デザイン

　○○○○○○○○○・・。

2. 対象者

　○○○○○○○○○・・。

3. 評価項目

1) ○○○○

　○○○○○○○○○・・。

2) ○○○○

　○○○○○○○○○・・。

※標題とする項目は研究に合わせて適宜ふさわしいものを選択すること

Ⅲ　結果

　○○○○○○○○○・・。

＜表1挿入＞

　○○○○○○○○○・・。

＜図1挿入＞

　○○○○○○○○○・・。

※図表の挿入位置については＜＞を付け、右寄せで示すこと

Ⅳ　考察

　○○○○○○○○○○・・。

Ⅴ　結論

　○○○○○○○○○○○・・。

謝辞および利益相反

　○○○○○○○○・・。

※謝辞や利益相反、倫理審査に関わる部分では個人名や所属名を伏せ字（○字）にし、受理後に記すこと。

文献

1) 村田伸, 甲斐義浩, 安彦鉄平, 他: 高齢者用歩行評価法「バランス歩行テスト」の開発. 健康支援, 2017; 19: 1-8.

2) Trombetti A, Hars M, Hsu FC, et al.: Effect of physical activity on frailty: Secondary analysis of a randomized controlled trial. Ann Intern Med, 2018; 168: 309-316.

3) 厚生労働省: 平成29年国民健康・栄養調査報告の概要.   
https://www.mhlw.go.jp/content/10904750/000351576.pdf（参照日2018年11月1日）.

4) 馬場園明: 疫学. 山田裕章編, 現代健康学. 九州大学出版会, 福岡. 1998; 41-56.

5) 田中喜代次: 肥痩度の測定と評価. 田中喜代次, 木塚朝博, 大藏倫博, 健康づくりのための体力測定評価法. 金芳堂: 京都. 2007; 62-67.

6) Rogers EM: Diffusion of Innovation (5th Ed.). Free Press, New York. 2003; 11-50.

図表

※図表は文章と同じファイルに保存すること。

※原則として1ページに1つの図または表を示すこと。

ファイル名

※ファイル名は変更せずに送信すること。